

一 (一)

(1) 合致

(2)

(2) 勘案

(3)

眺

二 (一)

(1) 道理からはずれるほどひどい

(2) 義理がたくまじめに

(3) 思いがけずふいに

(二)

一定の歴史的な条件下で他の人々からある集団を區別し、同質化する政策。

(三)

国民の生存に対する欲求を充足し、人口を増加させることを国家の役割とみなす政治観。

(四)

国家の構成員が契約ではなく征服などの暴力により区切られ、いかなる暴力も政治の度を超えて国民の管理するた

(五)

国家が国民の生活に責任を持つた。国家の同質化と差異の除去が目指され、国民の福祉や国力の増進の妨げとみなされ、人間が排除される力が強まった。

(二)

万年筆を書きやすくするまでの手間と時間を負わされていたから。

(三)

向田さんの遺品を撮った写真の中に自分から奪った万年筆三本を見つけた。その時々向田さんとの思い出が次々とよみがえり、彼女の不在が実感として迫ってきた。

(四)

欲しいと思ったものは人から奪ってしまし、誰をも幸せにし、使いたくないものは誰にも使わせない。

(五)

わかれ推さない他人の不幸をあれこれ日常を大切にする人はなく、さいふの仕事を大切にしていきましょ。

